



# 39REPORT

サンキューレポート 2009.09



いつもありがとうございますファンドをご支援いただき誠にありがとうございます。  
年2回発行の「39レポート」今回は2009年9月版をお届けします。

おかげ様で5周年を迎えました「ありがとうファンド」は、次なる飛躍に向けて着々と準備を進めています。

10月には新たな試みとして「ホルダーズ・ミーティング」開催を予定しています。開催のお知らせもしますので、ぜひ最後までお読み下さい。

## ありがとう投信

Arigato Asset Management Inc.

## 『 変わらぬ設立の思い ~ 設立発起人より ~ 』

ありがとうございます投信は多くのお客様の資産形成を長期投資という手段をもってお役立ちしたいという熱い思いを持って設立いたしました。そしてあっという間に5年という歳月が過ぎてしまいました。

この間も常にお客様の立場に立って考える会社でありたいという姿勢を貫き、お客様の負担するコストを少なくすること、お客様とのコミュニケーションを密にすることの為に販売手数料の無料化、各地でのセミナー・研修会の開催、最低購入金額の引き下げなどを実施してまいりました。直接販売方式の為になかなかお客様に認知されないという努力不足を痛感する事もあります。お客様からの「安心と信頼」を得ながらファンド仲間の輪を着実に広げていきたいと考えております。

これからもお客様に身近な運用会社を目指し、必ずやありがとうございますの仲間であった「ありがとう」といっていただけるような一層の努力をしてまいりますので、よろしくお願い致します。

むらずみ経営グループ 石塚 久美雄



ありがとうございますの仲間が欲しい、ありがとうございますの言葉がいっぱい欲しいと祈って始めた私たちの「ありがとう投信」。今はちっちゃな種だけど、そのうちに「ありがとう」と言ってもらえるような「宝石箱」になりたいなあ。 押田会計 押田 邦夫

運用について勉強していた会計人が立ち上げた投信会社、素晴らしい投資仲間とファンドマネージャーに支えられて、5周年を迎えることができました。これからも皆様に喜ばれるような運用会社を目指します。 上野会計 上野 茂樹

私たちが市民参加型の投信を作り、各地域の方々の資産形成にお役立ちしようとの思いから設立した「ありがとう投信」は早いもので5周年を迎えました。永年お世話になった地域への恩返し、形を変えたCSRと思っています。「小さく生んで大きく育てる」をモットーに現在子育て真っ最中です。 内田会計 内田 延佳

ありがとうございますファンド5周年にあたり、これからもお客様に信頼されるファンドとして成長していくことを望んでおります。まずは純資産100億円突破に向けて、安定的にそして大きく飛躍できるこれからでありますように。

小野瀬会計 小野瀬 益夫

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申ください。

[運用状況のご報告: 2月～8月]

2009年8月末までの7ヶ月間(前回の39レポートが1月末の数字を使用していたため今回は7ヶ月です。)の成績は、以下のとおりです。

ファンド名	09/02/02	09/09/01	騰落率
ありがとう	6,569	8,812	+34.1%

ファンド名	09/01/30	09/08/31	騰落率
さわかみ	9,202	12,800	+39.1%
トヨタグループ	6,863	10,340	+50.7%
社会貢献	6,447	8,914	+38.3%
TMA長期投資	5,828	7,736	+32.7%
NCヨーロッパ	5,643	7,412	+31.3%
NCエマージング	5,173	8,455	+63.4%
Alamcoハリス	3,992	6,332	+58.6%

組入れファンド平均 +44.9%

	09/01/30	09/08/31	
日経平均	7,994.05	10,492.53	+31.3%
TOPIX(東証株価指数)	794.03	965.73	+21.6%
MSCI AC World Index(世界)	82.605	111.122	+34.5%
MSCI World Index(先進国)	1,962.551	2,583.697	+31.6%
MSCI Emerging Markets	192.644	310.488	+61.2%
ドル円為替	89.970	93.010	-3.4%

MSCI: モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル。世界で広く使われている株価指数を算出している会社です。ここではドルベースのnet指数を使用しています。

全組入れファンドの単純平均よりもありがとうファンドの騰落率の方が下回ったのは、安全運転のためにキャッシュポジションを厚めに持っていたこと等が原因と考えられますが、それでもエマージングを除く株価指標は上回っており、おおむね狙っていた水準のパフォーマンスとなっています。

各組入れファンドを、それぞれ対応する市場の代表的なインデックス(指標)と比較すると、全てのファンドがインデックスを上回る成績を上げてくれているといえると思います。もちろん、個々のファンドの運用方針や行動にぶれがないことも、運用成績や口数の推移などとともに継続してチェックしており、問題のあるファンドはありません。

この2月から8月までの7ヶ月間では、Alamcoハリス・TMA長期投資ファンド・NCヨーロッパファンド・NCエマージングファンドについて少しずつ買い増しを行っております。

また、トヨタグループ株ファンドについては一部ですが売却を行いました。これは、トヨタグループ株ファンド自体に問題があるというわけではありませんが、他のファンドも合わせるとトヨタ自動車一社の株式だけでありがとうファンド全体の十数%におよぶ保有比率になっていることのリスクを軽減することが主たる理由のバランス調整です。

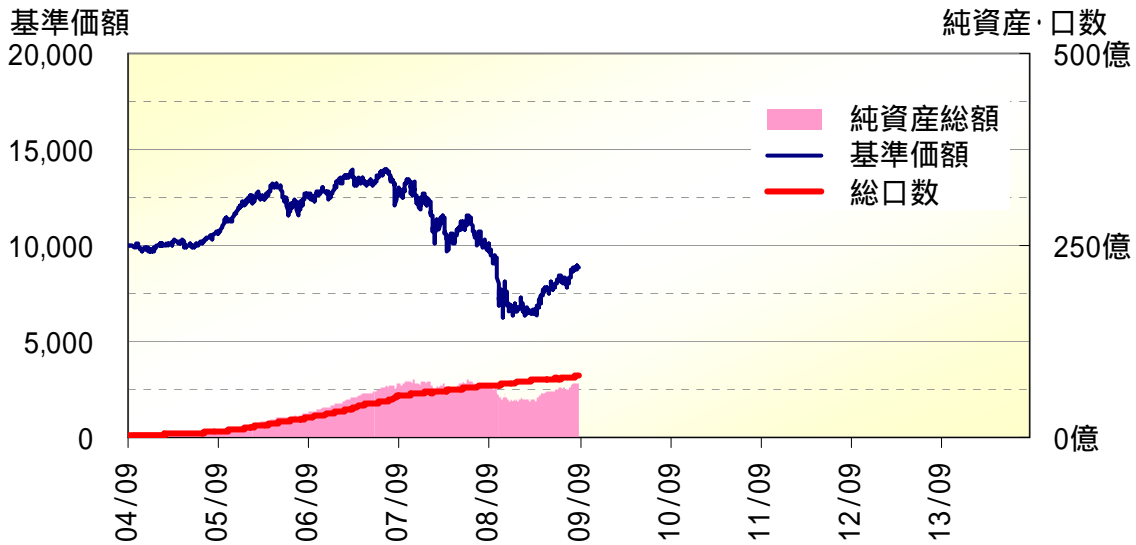
今後の状況を見ながら、もう少し追加で一部売却をすることも検討しています。

新たなファンドの組入れにつきましても、保有ファンドのチェックと同様、常に様々な可能性をリサーチしています。精査の上、確かに宝石だと思えるファンドを見つけたら、積極的に『ファンドの宝石箱(ありがとうファンド)』の中に加えていきたいと思っています。

おかげさまで、皆様のありがとうファンドの総口数は、設定以来2009年8月まで60ヶ月連続で純増を続けています。

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投資株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目録見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申度ください。

基準価額・純資産総額の推移



さて、ちょうど1年前の8月から私はありがとうファンドの運用に携わってまいりましたが、この1年間を振り返ってみると、これはまさに「激動の1年」でした。

2007年から問題が表面化したいわゆるサブプライムショックが、昨年9月のリーマンブラザーズの破綻をきっかけとした金融危機として世界中を駆け巡りました。米国ではゴールドマン・サックスなども商業銀行に移行して5大投資銀行が全て消滅するなど、大手金融機関の破綻・身売り・救済などのニュースがこれでもかと続き、その都度市場を大きく揺るがしました。「大恐慌」という言葉が、新聞等で書かたてられていた時期です。

私たちはある程度の波乱は予想し、夏ごろからキャッシュポジションを厚めにしてそれに備えていましたが、結果として想定をはるかに越える大波に襲われ、ファンドの基準価額も10月には6224円という最安値をつけてしまいました。お客様にはご心配、ご迷惑をおかけし、本当に申し訳ございませんでした。

その後、3月ごろまではもみ合いを続けていましたが、各国の金融危機に対する手当て、巨額の財政出動による景気対策等の効果が徐々に表れ、底割れ＝恐慌が訪れるという懸念が薄らいだことから相場も戻りに入り、ありがとうファンドの基準価額も9千円を伺う水準まで回復してまいりました。

こうした現状を踏まえて、少し長い目で見た大きな運用方針について、ここで簡単にお話しておきたいと思えます。

世界各国と比べて金融がそれほど傷んでいない、国債をほぼ国内のみで消化しており財政上の制約が相対的に少ない、長く市場が低迷しており上値のシコリが比較的軽い、といった日本の位置づけから、当面は日本株中心の現在の資産配分で良いと考えています。

しかし、もう少し長いスパンで見た場合は、新興国経済の成長力を無視することはできません。といっても、リスクも高い市場のことですから、ここへの配分をメインにすることも長期の資産形成のツールとしていただくためには相応しくないでしょう。

したがって、日本株と新興国を中心とした海外株の比率がおよそ6：3程度となる配分に向けて、徐々にシフトしていくような運用を中長期では想定しています。もちろん、ドテンボタンと売買をして無理やりに変更するようなことはなく、かなり緩やかな変化、変わっていないようだけれどもふと気がつくが変わっていたという程度の動きになります。

ありがとうファンドが、お客様に「安心して持っただけのファンド」であるように、そういう運用成績を目指して今後も精進してまいります。

(ファンドマネージャー 岡 大)

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投資株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申ください。

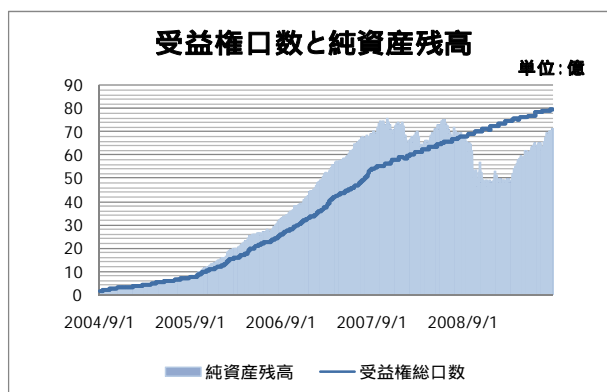
## 直販状況 激動のこの一年を振り返って

いつもご支援下さいまして誠にありがとうございます。この1年はありがとうファンドにとっても皆様にとっても激動の一年になったのではないのでしょうか。

ご存じのように昨年9月のリーマンショックを発端とした世界的な金融危機・信用収縮は、かつてないほどの経済活動の急速な悪化とマーケットの暴落を招きました。

日本の株式市場でも今年3月には日経平均株価がバブル後最安値を更新しました。その後、株価は徐々に回復して日経平均株価は1万円を回復しGDPなどの経済指標も上向いてきていますが、7月の完全失業率と有効求人倍率はそれぞれ過去最悪、過去最低を更新するなど実体経済は依然として厳しい状況が続いております。

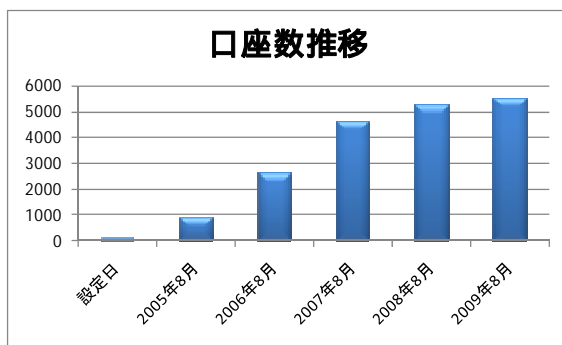
そんな激動の1年間でしたが、ありがとうファンドは設定以来60カ月、すなわち5年間ずっと資金流入が継続している状態が続いております。誰でも購入することができる公募投資信託の中で5年間毎月資金流入が継続しているファンドは数えるほどしかありません。これもひとえにお客様のおかげであると感謝するとともに、今後もご期待に応えられるように社員一同頑張っております。



さて、それでは、この一年間の顧客状況および販売活動状況、顧客サービス状況を振り返ってみたいと思います。

### <顧客状況>

口座数は8月末時点で前年比+231の5,499口座となりました。口座数を年代別で見ると30代、40代、50代の順に多くなっております。今後は20代の若い方に資産形成の必要性を理解して



だけのように活動していく必要があると考えております。また、自分で決めた一定金額を自動的に換金していくライフサポートサービス(定期換金サービス)の利用者は現在3名です。対象者が60歳以上であるため利用者はまだ少ないのですが、資産運用を継続しながら年金感覚で自動的に換金できるサービスなので将来的な利用ニーズは高いと考えております。

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投資株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申ください。

### <販売活動状況>

弊社の基本スタンスは変わっておりません。いわゆる売り込み型の営業ではなく、セミナー活動等を中心としたありがとうファンドの認知度向上と既存顧客のアフターフォローを中心に活動してきました。

具体的には、年間40回以上首都圏及び設立発起人(弊社役員)の地元を中心に全国でセミナー活動を続けてきました。さらに、地域のコミュニティや団体からご依頼があった場合は、セミナーに講師として参加致しました。セミナーの形式や種類も、前年度と比較して初心者向けの入門講座からファンドの運用状況報告、ファンドを通じて投資している企業の紹介まで様々なタイプのものを企画して実施してまいりました。また、セミナー活動以外では、ホームページや月次レポートの内容を随時見直して改善してまいりました。

### <顧客サービス状況>

2009年1月からの税制変更に合わせて特定口座を導入いたしました。これにより従来通りお客様が確定申告しなくてもよい源泉徴収を選択することができるようになりました。昨年の後半から今年5月末の残高移管期限までの間におきましては、お客様に書類のご提出等で大変なご協力を頂きました。この場を借りてお礼申し上げます。

また、会社創立5周年を記念しまして今年2月からファンドの最低購入金額を従来の10分の1となる1,000円に引き下げました。これにより、資産運用は自分には関係ないと思っている方にも、少額から手軽にありがとうファンドを購入していただけるように致しました。皆様にとってありがとうファンドがもっと身近な存在になってくれればと願っております。

最後になりますが、今後の活動計画についてご説明いたします。

### <今後の活動計画>

ありがとう投信は創業の目的や理念など変えてはいけない部分を守りつつも、この5年間の歩みがまさにそうであったように変化を恐れずに新しいことにも積極的に挑戦してまいります。

次のページにご案内がありますが、新たな試みとして、既存のセミナーとは一線を画したファンド保有者を中心とした年1回のホルダーズミーティング(お客様総会)の開催を10月に予定しております。

また、ホームページのコンテンツ充実の一環としてご要望の多かった動画配信も計画しております。動画コンテンツはファンドマネージャーのメッセージや運用状況報告、入門セミナーなどをまずは配信していきたいと考えております。

弊社は役職員合わせても十数名の小さな運用会社でございます。大企業と同じようにできない部分は当然ございますが、弊社の目標であるお客様の資産形成のお役に立てるように様々な制約の中で可能な限り社員一同力を合わせて努力してまいります。今後ともご愛顧賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

カスタマーサービス部 長谷俊介

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申ください。

## 【ホルダーズ・ミーティング開催のお知らせ】

5周年を迎えたありがとうファンドは、新たな試みを始めます。  
ファンドを保有して頂いているお客様（ホルダー）向けに年一回ホルダーズ・ミーティングを開催することにいたしました。運用のお話を中心ですが、出来る限り多くの社員も参加しますし、お客様との交流の場となるようにも考えております。ぜひご参加下さい。

### ホルダーズ・ミーティングの考え方

長期投資ファンドとは、長い時間をかけて投資家と運用者が二人三脚で資産を築いていくものです。

資産を築く為には長い時間を要するため、投資家は運用者の語る将来のビジョンに共感できるかを判断し、投資を決定しなければなりません。

運用者は投資家との間で共有されたビジョンの実現の為、日々運用を行います。

ホルダーズ・ミーティングは、ファンドの保有者がファンドの長期的な方向性を確認する場であり、方向性について意見、疑問を直接運用者に述べるための場です。

また、同じファンドの投資家同士が意見を交換する場でもあります。

### ホルダーズ・ミーティング開催概要

開催日程	* 10/17(土)神戸、10/25(日)名古屋、10/31(土)東京
内容	* 運用のご報告、長期的な運用方針のご説明、質疑応答、交流会など
参加要件	* ありがとうファンドを保有されているお客様、及び保有を検討されている方
お申込	* ホームページ ( <a href="http://www.39asset.co.jp/html/seminar/seminfo.htm">http://www.39asset.co.jp/html/seminar/seminfo.htm</a> ) 電話 (03-5807-9710) でお受付致します。(先着順、参加費無料)

<p><b>神戸</b> 10月17日(土) 13:30~16:00</p> <p>神戸商工貿易センタービル 26階 第8会議室</p> <p>神戸市中央区浜辺通5-1-14 JR三ノ宮駅徒歩10分</p>	<p><b>名古屋</b> 10月25日(日) 13:30~16:00</p> <p>TKP名古屋ビジネスセンター 会議室6</p> <p>名古屋市中村区椿町1-16 井門名古屋ビル6階 JR名古屋駅徒歩1分</p>	<p><b>東京</b> 10月31日(土) 13:30~16:00</p> <p>TKP東京駅八重洲ビジネスセンター本館 カンファレンス1801</p> <p>中央区京橋2-9-2 第1ぬ利彦ビル8F JR東京駅徒歩6分</p>
---	--	---

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投資株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。

## 『長期投資 再考』

『長期投資』と聞いて何をイメージしますか？言葉だけが独り歩きしているような印象の『長期投資』、もう一度社員でも考えてみようという座談会を開催しました。皆様の『長期投資』のイメージが少しでも明確となれば幸いです。

当日の参加は以下の6名です。

岡 大（代表取締役・ファンドマネージャー）・村山 甲三郎（エグゼクティブアドバイザー）・川元 由喜子（ファンドマネージャー）・長谷 俊介（カスタマーサービス部）・伝能 浩（投信委託業務部）・米山 亮（コンプライアンス部）

## 1. 長期投資を何に例えるか。

米山（以下、米）：私は果樹園の経営に近いと思う。桃栗3年柿8年と言われる様に一定期間は収穫を期待しない、という点が長期投資と似ているのではないかと。

川元（以下、川）：でも株式投資ならすぐ配当は出るよね。



村山（以下、村）：今の配当の話だけど、これからは配当がもっと大事になると思う。配当のベースを金利と考えると日本が人為的に金利を低く抑えていたことが、日本に長期投資が根付かなかった理由の一つといえる。金利が高くて、為替が強ければ、配当をベースとした株式の長期投資が成り立つと思う。この辺の事情は日本の特殊な要因だ。

米：欧米ではその辺はどうなのでしょう？

村：アメリカで投資信託が大きく伸びた時の動きは、まず銀行預金からMMFにお金 flowed、そこから徐々に株式ファンドにもお金が流れていった。そういう意味でも金利の高さは重要。アメリカの製薬会社の中には配当をばんばん出す会社があって、そういう会社の株は持っているだけで十分儲かった。

川：そうなる自然と長期で株を持つという気になる。

村：日本もようやく配当を意識し始めたが、ベースの金利が低いのでまだそこで止まってしまっている。

川：そういう意味で外国人投資家が日本企業に配当を迫るのは極めて真っ当。

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申ください。

米：他の人はどうですか？長期投資を例えると。

伝能（以下、伝）：私は長期投資と子供の成長・子育てを重ねる。以前お客様に言われたときはピンと来なかったが、今は自分も子供を持ってみて実感として感じている。

村：長期投資は何かと問われれば人生そのものと答える。この先、生活していくためには預金だけでは難しい、投資は当然必要なものと考えている。

岡：私が長期投資でイメージするのは庭の木を小さな苗から育てること。何年も先の姿をイメージしながら苗を植え、それを自分の思い描いた形に近づくように手入れをして育てる。枯らさないことが大事で、元気に大きくなればほとんど手入れも要らなくなるし、素敵な木が育てば、そのまま子ども達も受け継いでくれる。前に、金沢兼六園の根上松がどうやって造られたかを聞いたときも、まさに長期投資だと思った。



（兼六園 根上松）

長谷（以下、長）：私はワイン作りをイメージする。葡萄を育て、樽詰めし、熟成させる。中には熟成段階で味が出てくるものもある。

川：少し皆と違うんだけど、私の感覚ではゲームに近い。自分の持ち駒を駆使しながら長い時間かかるゲームを続け、最終的には資産を築く。

伝：攻略本のないゲームですね。

長：最近のオンラインゲームは新たにシナリオが追加されるものもあって、終わりがなくなっている。

川：その方がより長期投資に近い感じかな。

米：そもそも長期投資という考え方は十分確立されていると思いますか？



岡：長期投資というのは期間の問題だと思われる。値動きだけを目的に売買するのであればそれはゼロサムゲームになってしまって、それでは経済は大きくなならない。大切なのは、そこに企業の成長を取り込んでいくことだと思っている。たとえ10年かけても、値動きだけしか見ずにそれを追うのなら、それは期間を長く取った投機だ。

村：アメリカでも長期投資は少数派だと思う。ほとんどの人が上がれば買うし、下がれば売る。しかし違った意見が混在している市場こそ健全といえる。長期投資もその市場を構成する一部分だと思う。

川：そもそも投資とは長期で行なうものと決まっている。わざわざ長期をつけなくてはいけないところが問題かもしれない。

---

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投資株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申ください。

## 2. 長期投資における各人の夢

長：教科書的ですが老後の為の資金ですかね。金額としていくら作りたいかというのは漠然としているが・・・。

伝：私は老後をはっきりイメージできていないが、将来的な資金の裏づけになればいいと思っている。また長期投資を一つの壮大な実験として見ていきたい。

岡：私の夢は本当の長期投資を極めたいということ。うちのファンドをずっと持ってさえいればそれでちゃんと長期投資になっていると言い切れるだけの運用をしていきたい。

村：長期投資も含めて、一番大事だと思っていることはマーケットにお金が行くこと。例えば、水がちょろちょろしか流れてなければ船は動かないが、大きな流れがあれば船は浮く、つまり、誰のお金か問わないがトータルのお金の流れが大きくなれば収益機会も増えるし、世の中も変わる。それが自分の夢。

米：世の中が変わるという意味は？

村：説明しにくいですが、一種のお金の持つ先見性ということじゃないかと思っている。お金が集まる所は景気が良くなる、では何でお金が集まるのかということをお金を動かすエネルギーがあるからで、そのエネルギーでもって世の中が変わるのではないか。今の日本は皆お金を抱え込んでしまっているからお金が動かない、つまりエネルギーがない。逆に東南アジアやアメリカではエネルギーがあるし、常に緊張感がある。そういうところにお金が行くとお金の動きも変わる。

川：日本はまだ賢く市場経済システムを利用するという発想がないと思う。世の中が変わるとするのは一般の人が自分たちの経済のリスクを取るようになることではないのか。そうすればお金の働きにもっと真剣になる、みんなリスクを取ってないから企業の経営者の頑張りにも知らん顔している。しかし、これからは一人一人が自らの経済のリスクを取ることで経済の活力が出てくるのではないかと考えている。それが、みんなが株を買えば世の中が変わるといった意味ではないかと思う。



米：80年代のバブル期はそういう時期だったのでしょうか？

川：バブル期は最終的にはお役所がリスクを取っていたという意味で、新興国型経済のエネルギーはあったが、今の日本は成熟し一人一人がリスクを取る時代になったのではないか。

---

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投資株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申ください。

### 3. お客様に向けたありがとうファンドとの付き合い方

長：お客様にはバタバタ売ったり買ったりする必要のないファンドとしてお付き合いしてもらいたい。

伝：このファンドを資産を増やしていくツールとして積極的に利用して欲しい。毎月購入やスポット購入の効果的な利用によって、ただ預けっぱなしという運用とは違った成果が出ると思う。そうすると経済にも今まで以上に興味が湧くのではないかな。

川：投資クラブに参加している感じで捉えてもらってもいいのではないかな。このファンドが投資への関心の入り口になればいい。

岡：自分はファンドマネージャーが本業だから四六時中運用のことを考えているけれど、お客様は本業が別にあってそのことを一生懸命考えなければいけない。それでも、そういう人たちにこそ資産運用をして欲しいし、そういう人たちが安心してずっと持っていられるファンドにしたいと思っている。お客様にもそういう気持ちで付き合い合ってもらえれば。

あとは、積み立て投資の仕組みを上手く利用してもらいたいと思う。

村：今回の株式市場の下落時でも積み立て投資をやっていた人とそうでない人とでは随分と差が出たのではないかな。

川：積み立て投資も普段から無理のない金額でやっていけば下落時も我慢できると思う。私の基準では金融資産を売る時は、「まだ下がりそうだから」ではなくて、「もうこれ以上高くないから」売るという判断をしている。

伝：ありがとう投信としてもお客様が積み立て投資を続けていけるようなアドバイスをしていきたいですね。

川：今後も皆で長期投資を理解してもらえるような企画をどんどん考えていきましょう。



このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。

編集後記

今回の「39REPORT」はいかがでしたでしょうか？

新たな試みもスタートし、社内もエネルギーに溢れています。

39REPORT の内容についてご意見・ご感想をお寄せ頂ければ幸いです。

次号の参考とさせていただきます。

(ありがとう投信株式会社 社員一同)

『ありがとうファンド』の概要

商品分類	追加型投信 / 内外 / 資産複合 / ファンド・オブ・ファンズ
信託期間	無期限
決算と収益分配	毎年8月31日(休業日の場合は翌営業日)
お申込単位	1,000円以上1円単位
お申込価額	取得申込受付日の翌々営業日の基準価額
ご解約単位	1円以上1円単位
ご解約価額	解約請求受付日の翌々営業日の基準価額
委託会社 (販売会社)	ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号(社)投資信託協会会員
受託会社	日興シティ信託銀行株式会社 登録金融機関 関東財務局長(登金)第25号(社)日本証券業協会会員

『ありがとうファンド』にかかるリスク

主なリスク 「価格変動リスク」「流動性リスク」「ビジネスリスク」「為替リスク」「カントリーリスク」「ファンド資産の流出によるリスク」

当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、**損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。**ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますしファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また**元本及び利息の保証はなく預金保険の対象でもありません。**

『ありがとうファンド』にかかる手数料等

申込手数料	手数料はありません。
換金(解約)手数料換金	手数料はありません。
信託財産留保額	信託財産留保額はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年0.945%(税抜0.9%)の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年1.6%±0.3%(概算)] 当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他の費用等	当ファンドに組み入れるファンドを売買する際に発生する売買委託手数料及びこれにかかる消費税相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。 実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。